



Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 平成28年度 公共ホール演劇ネットワーク事業 報告書

『演出家だらけの青木さん家の奥さん』

一般財団法人地域創造

助成事業

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会



## 事業概要

目次	1
はじめに	3
実施要綱	4
事業の流れ	6
事業予算	7
公演概要	8
ツアースケジュール	9

## 実施データ

高知	10
豊中	11
北九州	12
上田	13
魚沼	14
ポスター	15
ちらし	16



一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との密接な連携のもと、全国の地方公共団体や関連の公益法人などが実施する文化・芸術活動に対して財政的な支援を行うほか、財団の自主事業として、研修交流事業、公立文化施設活性化推進、調査研究等などの事業に取り組んでいます。

これらの事業の一環として「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。これは、各地域において、上質な演劇公演と、演劇の手法を活用した地域交流プログラム（学校へのアウトリーチ、一般向けのワークショップ等）を実施することにより、観客の創出・育成や子どもたちのコミュニケーション能力・想像力・創造力の向上をサポートする事業です。

平成28年度は、「演出家だらけの青木さん家の奥さん」（作・演出：内藤裕敬）の上演と、地域交流プログラムを高知市文化プラザかるぼーと（高知県高知市）、豊中市立ローズ文化ホール（大阪府豊中市）、北九州芸術劇場（北九州市）、上田市交流文化芸術センター（長野県上田市）、魚沼市小出郷文化会館（新潟県魚沼市）の5地域で実施しました。地域交流プログラムでは、想像力を働かせて「見えないものを見る」ことに取り組んだり、太宰治の名作「走れメロス」のワンシーンを演出することに取り組みました。参加者の楽しみながらも真剣に取り組む姿が印象的でした。

この報告書は、「平成28年度公共ホール演劇ネットワーク事業」において実施した事業内容をまとめたものです。本事業の成果が活かされ、地域のホールが創造的な活動の場となり、ネットワークの形成が活発に行われるようになることを願っております。また、この報告書が地域の公立文化施設の職員や地方公共団体の芸術文化担当者の参考となり、微力ながら公共ホールの運営に役立てられれば幸いです。

結びに、貴重な財源を拠出していただきました一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会をはじめ、本事業の実施にあたりご協力を賜りました全ての関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成29年3月  
一般財団法人地域創造

## 1 趣旨

一般財団法人地域創造（以下「地域創造」という。）は、公共ホールの活性化、情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、複数の地方公共団体等が演劇公演を共同・連携して実施することを支援する。

## 2 対象団体

演劇事業の実施に関心があり、今後も演劇事業に積極的に取り組む意欲を持っている下記の団体を対象とする。

- ① 地方公共団体
- ② 地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
- ③ 地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設立された、公益財団法人等（②を除く。）のうち、地方公共団体が基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めたもの

## 3 事業内容

当事業の各参加団体は、次の事業を実施する。

### (1) 演劇公演

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他公演事業を実施するにあたり適当な施設を会場とし、演劇公演（再演作品）を実施する。

なお、公演は原則として有料とし、入場料収入は、開催地の主催団体に各々帰属するものとする。

### (2) 地域交流プログラム

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他地域交流プログラムを実施するにあたり適当な施設を会場とし、地域交流プログラムを実施する（地域交流プログラムは、企画展やシンポジウム、セミナー等も含む。）なお、申請は採択後とする。

## 4 地域創造の支援措置

### (1) 公演事業等に対する助成

地域創造は、公演事業（ホール使用料、現地宣伝費、上演に係る著作権料、現地増員人件費などの現地経費は対象外とする。）及び地域交流プログラムにかかる費用の3分の2を助成する。

ただし、助成金は、1,500万円（原則、公演事業1,400万円、地域交流プログラム100万円）を上限とする。

## 5 事業実施体制の整備等

### (1) 実施体制の整備

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、代表となる団体を1団体決定するとともに、事業に最も適した組織づくりを行う。

なお、4（1）の地域創造からの助成金は、原則として代表団体、参加団体で構成される実行委員会またはネットワーク事務局に対して交付する。

また、事業にかかる経費のうち、地域創造からの助成金を除いた部分の負担の配分については、参加団体間の協議事項となる。

---

(2) 地域交流プログラムの企画書の提出

代表団体は、参加団体間で協議のうえ、地域交流プログラムの企画内容を記載した企画書等を提出する。

(3) 合意書の締結

参加団体（代表団体含む）は、参加団体間で協議のうえ、本事業実施のために必要な事項（(1)の実施体制に関するものも含む。）を定めた「合意書」を締結する。

(4) 代表団体の役割

代表団体は、(3)の合意書締結のとりまとめのほか、ネットワーク事業に必要な会議の開催や収支管理、事業報告及び決算報告を行うこと。

## 6 損害賠償の免責等

参加団体は不測の事態により事業を中止した場合等の損害の補填として損害保険等に加入すること。また、事業の実施に伴い発生した損害賠償等の責任について、地域創造は責めを負わないものとする。

## 7 公演クレジット

次のクレジットを基本とする。

主催：開催地の主催団体

公共ホール演劇ネットワーク事業参加団体：参加の地方公共団体

助成：一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、  
(一財)地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

## 8 その他

この要綱に定めるもののほか、事業実施に必要な事項（地域創造が交付する助成金の申請様式など）については、別途定める。

## 事業の流れ

時期／区分	フ ロ ー 図
平成27年 1月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体及び上演作品募集 ・1/25発行地域創造レター2月号にて周知 募集締切（3月10日）</div>
3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体名及び作品名を地域創造のホームページ上で公開。 参加を希望する団体は、各代表団体に直接、連絡する。 代表団体は、参加を希望する団体を取りまとめて地域創造へ申請。 申請締切（4月22日）</div>
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">上演作品及び事業参加団体の決定</div>
平成28年 2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域交流プログラムの企画書等の提出</div>
4月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合意書の締結及び制作会議の開催</div>
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">演劇公演及び地域交流プログラムの実施 (高知市・豊中市・北九州市)</div>
11月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中間報告会議の開催</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域交流プログラムの実施（魚沼市）</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">演劇公演及び地域交流プログラムの実施 (上田市・魚沼市)</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">決算報告会議（3月15日）</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ネットワーク事務局から実績報告書提出・助成金の確定交付</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事業報告書作成・配布</div>
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会へ実績報告書提出</div>



## 事業予算

費 目	金 額	摘 要
文 芸 費	1,200,000	脚本使用料／演出料
出 演 料	5,285,262	出演料
舞 台 費	1,302,114	舞台・照明・音響スタッフ費／大道具・小道具費／衣装費／運搬費
公 演 費	2,210,020	交通費／宿泊費／公演雑費
制作費等	692,506	チラシ・パンフレット制作費／公演保険料／制作雑費
現地下見経費	479,764	現地下見交通費／現地下見宿泊費
ネットワーク費	570,840	交通費／宿泊費／日当
地域交流プログラム経費	526,440	交通費／宿泊費／謝金
合 計	12,266,946	
参加館負担金（合計）	4,088,982	
高知	922,215	（2ステージ）
豊中	635,333	（1ステージ）
北九州	918,692	（2ステージ）
上田	925,428	（2ステージ）
魚沼	687,314	（1ステージ）
地域創造助成金	8,177,964	（対象経費の2 / 3、上限1500万円）

---

## 『演出家だらけの青木さん家の奥さん』公演概要

---

### 【作・演出】

内藤裕敬

### 【出演】

岩崎正裕（劇団太陽族）、多田淳之介（東京デスロック）、田上豊（田上パル）、  
内藤裕敬（南河内万歳一座）、鈴木貴彦（南河内万歳一座）、荒谷清水（南河内万歳一座）

### 【地元出演者】

- ・高知公演 西村和宏（サラダボール）、西本一弥（演劇unitユニット・バス）、  
藤岡武洋（シアターTACOGURA）、麦生（劇団プラセボ）、  
行正忠義（劇団シャカカ）、領木隆行（TRY-ANGLE）
- ・豊中公演 和、島勝美、福田和栄、松田栄子、凜霞
- ・北九州公演 穴迫信一（ブルーエゴナク）、有門正太郎（有門正太郎プレゼンツ）、  
寺田剛史（block）、守田慎之介（演劇関係いすと校舎）、  
脇内まつげ（ワンチャンあるで!）、渡辺明男（バカボン座）
- ・上田公演 上沢一矢、黒岩力也、小松順子、司白身、福澤拓実、藪田絵実、藪田凜
- ・魚沼公演 大作綾（劇団K.O.T.N.演出）、南雲房子（劇団ゆきぐに）

### 【スタッフ】

- ・イラスト 長谷川義史
- ・舞台監督・照明 皿袋誠路（(株) PAC west）
- ・企画・制作 演劇ネットワーク実行委員会（(公財)高知市文化振興事業団、  
豊中市市民ホール指定管理者、(公財)北九州市芸術文化振興財団、  
上田市（上田市交流文化芸術センター）、  
魚沼市（魚沼市小出郷文化会館））
- ・制作助手 岡野礼音（南河内万歳一座）
- ・制作協力 南河内万歳一座

### 【あらすじ】

近所で評判の美人と言われる青木さん家の奥さん。その青木家への配達伝票を巡って繰り広げられる酒屋の店員たちのバトルに、新入りアルバイトも参入するが、先輩たちはさまざまな無理難題を押しつける…。

## ツアースケジュール

日程		会場	内容	スタッフ移動	キャスト移動	
10月	17日	月	高知市文化プラザかるぽーと	高知着		
	18日	火		仕込み		
	19日	水		舞台稽古	高知着	
	20日	木		地域交流プログラム・舞台稽古		
	21日	金		舞台稽古		
	22日	土		①公演14:00		
	23日	日		②公演14:00		
	24日	月	豊中市立ローズ文化ホール	仕込み・舞台稽古	高知→豊中	高知→豊中
	25日	火		地域交流プログラム・舞台稽古		
	26日	水		①公演19:00		
	27日	木	北九州芸術劇場	仕込み・舞台稽古	豊中→北九州	豊中→北九州
	28日	金		地域交流プログラム・舞台稽古		
	29日	土		①公演14:00		
	30日	日		②公演14:00		
31日	月			北九州発	北九州発	
12月	7日	水	魚沼市小出郷文化会館	魚沼着	魚沼着	
	8日	木		魚沼発	魚沼発	
2月	28日	火	上田市交流文化芸術センター	上田着		
3月	1日	水		仕込み・舞台稽古	上田着	
	2日	木		地域交流プログラム		
	3日	金		舞台稽古		
	4日	土		①公演14:00		
	5日	日		②公演14:00		
	6日	月	魚沼市小出郷文化会館		上田→魚沼	上田発
	7日	火		オフ		
	8日	水		仕込み		
	9日	木		地域交流プログラム・舞台稽古		魚沼着
	10日	金		舞台稽古		
	11日	土		①公演14:00		
	12日	日			魚沼発	魚沼発

## ■公益財団法人高知市文化振興事業団



### ■高知市文化プラザかるぽーと 小ホール

[所在地]：高知県高知市九反田2-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

10月22日（土）・14：00・82人

10月23日（日）・14：00・90人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

10月20日（木）・8：50～10：30・33人（小学校へのアウトリーチ）

10月20日（木）・10：50～12：30・32人（小学校へのアウトリーチ）

[入場料金]

一般 3,000円、高校生以下 2,000円（当日各500円増）

### ■この事業への参加理由

高知市文化振興事業団は、近年地域の表現者や劇団制作者と共に、表現力と制作力の底上げを目指し、中央の表現者を招いて合同での作品制作に取り組んでいる。

今回の企画は、作品制作やワークショップの指導など、中央の表現者と深い繋がりを築く中で生まれたものである。第一線で活躍する演出家達が一堂に会し、通常ではありえない出会いや刺激を、関係者それぞれが感じ、また今後の深いつながりを生み出すことを目指したものであった。

当事業団としては、複数の劇場と協働で制作すること、そしてそれら全体を統括する役割を果たすことは初めての試みであったが、これまでの活動を総括し、新たな次の段階へ進むための大きな挑戦と位置づけ臨んだ事業であった。

### ■この事業全体を振り返って

事業開始当初より経験不足・準備不足で様々な問題が生じた。その中で、出演者や他館の担当者、地域創造の方々の温かい励ましや協力があり、「共に創る」という雰囲気助けられ、何とか事業を終えることができた。

巡回公演のための予算作りから、描いた企画を現実にするための契約や各種手続きなど、今までの自主事業と比較にならない作業量であり、目の前の書類に追われ、全体を見ることができなくなる場面もいくつもあった。しかし、公演に向けての準備や注意点など、他館それぞれとの「違い」は非常に勉強になり、協働で実施する面白さを味わった事業であった。

全く反省することばかりであるが、関わった方々から、また一緒にお声掛けいただけたのはとても嬉しく、人や組織や地域それぞれが深いつながりを紡ぐことができたと考えている。

### ■今後の事業展開

今後は、他館での取り組みにもあったような、舞台上の事だけではなく、ワークショップやアウトリーチの手法など、演劇という表現の様々なあり方を模索していける事業を企画していきたい。そのひとつの目標は、かるぽーとというホールをもっと“遊べる”空間にするということだと考えている。

また、今後も中央の表現者を招き、地元の表現者と共に作品制作を行っていききたい。ただ稽古や指導を受けるだけでなく、企画運営や制作なども協力し合い、多くの学びのある企画としたい。そして、ゆくゆくは、地元の表現者と共に、大きな舞台で発表できる作品を一本制作したいと考えている。

■豊中市市民ホール指定管理者 JTB・日本センチュリー・日本管財・大阪共立グループ



■豊中市立ローズ文化ホール

[所在地]：大阪府豊中市野田町4-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

10月26日（水）・19：00・138人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

10月25日（火）・16：00～17：00・25人

（中学校合唱部部員対象のワークショップ）

[入場料金]

一般 3,000円、学生 1,500円

■この事業への参加理由

2017年1月にグランドオープンした豊中市立文化芸術センターの開設プレ事業として実施した。

2016年4月より豊中市市民ホール全体が市の直営から我々指定管理者になり、指定管理者の構成員として（公財）日本センチュリー交響楽団がいるため音楽系の事業は経験があるが、演劇系の事業は初めてであったため、演劇の経験が豊富な館と連携しノウハウを共有しながら演劇の制作を実現すること、そして豊中市立文化芸術センターのオープンを演劇に興味のある市民へ告知し、今後演劇事業も主催として取り組むことを伝えるために本事業へ参加した。

■この事業全体を振り返って

会場のローズ文化ホールは文化芸術センターから2駅離れた位置にあるが、両ホールは一体で運営している。しかし、どうしても企画制作の機能は文化芸術センターに集約されているため、ローズ文化ホールの位置付けが難しいのだが、同会場でも演劇公演で文化芸術センターオープン前に事業を実施し、今後も同規模の演劇公演はローズ文化ホールで開催することになり、ホールの役割を位置づけることになった。

またオーディションによる地元出演者のうち数名、特にアマチュアで活動している人はその後、年末に開催したダンスワークショップや音楽ワークショップに参加。また別公演のエキストラ募集の告知に協力いただいた。開館したばかりのホールであるがこのように継続した関係を築くきっかけとなった。

■今後の事業展開

演劇公演について年間最低1回は制作に関わる公演を主催し経験が途切れないようにする。これは演劇に限らないが公演の前後に出演者や来場者で感想や意見を共有する時間を設けて、観客が公演に関わる時間全体をコーディネートしたい。また例えば視覚障害者が演劇を楽しむにはどうすればいいのかと考えている。実際にそういった要望もある。演出家や劇団と協力し、どのような方法があるのかやってみたい。単に障害者のためというより、その行為が我々主催者や他の観客にとっても収穫のある方法にしたいと思っている。

## ■（公財）北九州市芸術文化振興財団



### ■北九州芸術劇場 小劇場

[所在地]：北九州市小倉北区室町1-1-11

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

10月29日（土）・14：00・116人

10月30日（日）・14：00・127人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

10月28日（金）・10：45～12：35・31人（中学校へのアウトリーチ）

10月28日（金）・13：35～15：25・31人（中学校へのアウトリーチ）

[入場料金]

大人 3,000円、ユース 2,000円（24歳以下）、

子ども（高校生以下）1,000円 ※未就学児入場不可

### ■この事業への参加理由

（公財）高知市文化振興事業団より提案いただいた本作は、初演以来何度も演劇人により再演されてきた即興演劇作品に、普段からいかに舞台を面白くするかを考え役者を動かす側にいる『演出家たち』が挑むという点と、出演者が現代演劇界の第一線で活躍するメンバーであるという点に魅力を感じた。

また、当劇場ではこれまで上演の機会が少なかった即興演劇の作品を市民に提供することで、演劇の手法の幅広さを提示できればと考え、参加を希望した。さらに、事業に参加することで他館との連携による事業実施の経験を増やし、そのノウハウを吸収することによって、将来、劇場が主となつての連携事業実施の実現を目指し、今回得た経験を活かしていきたいと考えている。

### ■この事業全体を振り返って

本事業に参加することで他館との連携によって様々な情報交換ができたことや、運営方法の違いなどに触れることができたのは、戸惑うこともあったが大変勉強になった。

事務運営については、各館の環境や経験値の違いにより、事業を進めるにあたっての懸案事項について問題意識や認識の程度に差があったように感じた。制作会議で話し合った内容についても、その場で確認・合意していたはずのことが、一から再確認が必要になることがしばしばあった。制作館のコーディネートについては、初めて制作館を担当されるということ事前に認識しての参加だったので、逆に忌憚なく話し合ったり、連絡を取り合ったりしやすかったように思う。また、あらかじめ制作館から協力要請があったので、チラシ・ポスターの作成とりまとめを請け負うなどで、制作館に集中する負担の一部を担うことができ、通常参加館が行うことが少ない業務を経験することができた。しかし、作業を担当してみて制作館を挟んで参加館が作成作業を行うことで作業時間と手間が増え、その分負担も大きくなることを実感した。連携事業の課題が見え、良い経験となった。

### ■今後の事業展開

公演事業を継続的に行い様々なジャンルの舞台芸術を市民に届け、また今まで培ってきた地域やアーティストとの関係性を発展させながら、今後もワークショップ・アウトリーチ事業、研修事業等を行なっていくことで地域活性への貢献と文化芸術の普及に努めていきたいと考えている。

また今回の事業で得た経験や知識をスタッフで共有し、劇場の経験・ノウハウとして蓄積することで、今後の事業の質をさらに高めていきたい。地域で質の高いワークショッププログラムを継続して行うために、地域のアーティストと協働してのファシリテーターやコーディネーターの育成に取り組んでいるが、人材はまだ十分とは言えない状況であり、さらなる育成の必要性を感じている。そこで、引き続き地域文化の担い手となる人材の育成事業も継続的に行っていきたいと考える。



## ■上田市



■サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター 大スタジオ  
[所在地]：長野県上田市天神3-15-15

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

3月4日（土）・14：00・120人

3月5日（日）・14：00・90人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

3月2日（木）・18：30～20：30・23人（一般対象のワークショップ）

[入場料金]

一般 3,000円、U-25 1,500円

### ■この事業への参加理由

この事業への参加理由は以下の点である。

- ・全国で活躍している演出家の方々による公演を実施することで、演劇の持つ面白さや可能性を伝えることができる。
- ・サントミュージゼでの演劇事業に参加いただいている演出家たちが舞台に立つことによって、劇場と観客との新たな接点（回路）を創出できる。
- ・公演だけでなく各地域の特色を生かした地域交流プログラムの実施により、各劇場におけるアウトリーチの取り組みを学べる良い機会となる。
- ・参加劇場との共同制作の過程から、劇場スタッフのスキルアップができる。

### ■この事業全体を振り返って

4月の制作会議から3月の公演まで、実に1年の事業であった。

制作段階では、地元出演者の起用、各地域で考えた交流プログラムなど、各地の特徴を生かしたアイデアを取り入れ、会議に於いては参加館の役割分担を話し合い、互いの状況を意識し、時にはサポートをしながら事業を展開。「演劇ネットワーク事業」の名のとおり、参加館との繋がりを強く感じながらの事業実施は、今後の上田市での制作活動の貴重なヒントとなった。

公演事業では、これまでのサントミュージゼでの演劇事業に参加した方々だけでなく多くの方が来場。徐々にではあるが確実に歩んできた3年間の演劇事業の軌跡を振り返ることができた。

また、地域交流プログラムでは、会場を市内の小劇場とすることで、新たな『出逢い』が生まれ、実りの多い事業であったと考える。

### ■今後の事業展開

サントミュージゼでは、『創造』『育成』『参加・体験』を目的に、他の劇場との連携による演劇事業や創造制作事業を実施している。

今後は、この事業での経験を踏まえ、他劇場との連携の強化と『創造』『育成』『参加・体験』事業の充実を図りたいと思う。

来年度には、出演いただいた演出家による『創造公演』『高校生による参加型公演』などを計画しており、この事業での出逢いを次に繋げていこうと考えている。

### ■魚沼市



#### ■魚沼市小出郷文化会館小ホール

[所在地]：新潟県魚沼市干溝1848-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

3月11日（土）・14：00・100人

[ワークショップ（実施日・時間・参加人数）]

12月7日（水）・13：50～16：00・24人（小学校へのアウトリーチ）

12月7日（水）・19：00～21：00・11人（一般対象のワークショップ）

3月9日（木）・13：00～16：00・12人（高校演劇部対象ワークショップ）

[入場料金]

一般 2,500円、高校生以下 1,500円（当日各500円増）

#### ■この事業への参加理由

魚沼市小出郷文化会館は平成8年にオープンし、当時は自主事業で「魚沼一座」劇団育成とマンスリーレジデンスで演劇公演を実施していたが、平成18年に劇団育成が終了し、キッズミュージカル事業へシフトしたため、演劇は公演事業のみとなった。うおぬま超劇シリーズ企画では、自主財源で年に1本程度の実施をしているが、演劇観客層の拡大には他館との企画協働による演劇公演企画の実現が必要になっていた。

また、高校演劇部との連携や、地域での演劇ジャンル活動の再生化を目指して、演劇事業の活性化を図るためには、企画制作者のスキルアップが必須であるため、経験豊富な会館との連携を強める必要があった。さらに地域でのワークショップ・市内学校への演劇ワークショップ実施をとおして、ワークショップ事業の再構築及び学校関係との連携を強化するため、本事業に参加した。

#### ■この事業全体を振り返って

企画制作に関して実績経験が豊富な他館と制作会議を行うことによって、ノウハウを習得でき、地域の特性を生かした取り組みを企画できた。また、参加全館の共通事項による経費が大幅に節減でき、経費負担を抑えることができた。制作面では出演者やスタッフに対しての情報収集もでき、公演に向けて丁寧な準備ができたことは企画運営の推進につながった。

地域交流プログラムでは、小学校や高校生、また地域の演劇に興味を持っている人達への演劇ワークショップを行い、参加者がとても刺激を受け、演劇活動への可能性が見えてきたことは、大きな効果であった。魚沼市独自の取り組みをして市内の商工会や店舗及び酒造会社との協力体制をとり、83店舗にポスターやチラシの設置を実施することができたことにより、地域との連携が強化できた。

#### ■今後の事業展開

企画制作のノウハウを生かし、県内高校演劇との連携を進め、演劇活動の活性化を図るワークショップの取り組みを拡大できる企画を進めていきたい。

今回実施した学校演劇ワークショップの方法を構築し、想像力や感性を磨く独自の演劇ワークショップを企画することにより、市内小・中学校への訪問プログラムの実施数を拡大したい。

今回の企画制作グループでの経験を生かし、地域や県内高校演劇部などとの連携方法を模索し、当館を核とした演劇活動や合同発表、またプロの演劇人とのコラボ企画を考えていきたい。





演出家だらけの

主月木さん家の奥さん

作・演出 内藤裕敬

【出演】  
 岩崎正裕 (劇団太陽族)  
 多田淳之介 (東京デスロック)  
 田上豊 (田上ハル)  
 内藤裕敬 (南河内万歳一座)  
 鈴木貴彦 (南河内万歳一座)  
 荒谷清水 (南河内万歳一座)

高知Ver. 2016年10月22日(土) 14:00開演 / 23日(日) 14:00開演 ※開場は開演の30分前  
 会場 ●高知市文化プラザかるぼーと小ホール  
 お問い合わせ ●(公財)高知市文化振興事業団 ☎088-883-5071  
 主催 ●(公財)高知市文化振興事業団  
 後援 ●高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、エフエム高知、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局  
 協力 ●高知演劇ネットワーク協会

豊中Ver. 2016年10月26日(水) 19:00開演 ※開場は開演の30分前  
 会場 ●豊中市立ローズ文化ホール  
 お問い合わせ ●豊中市立文化芸術センター開設準備室(豊中市立アーク文化ホール内)  
 ☎06-6864-3901  
 主催 ●豊中市市民ホール指定管理者  
 協力 ●大阪府小売業協組合豊中支部第二分会

北九州Ver. 2016年10月29日(土) 14:00開演 / 30日(日) 14:00開演 ※開場は開演の30分前  
 会場 ●北九州芸術劇場 小劇場  
 お問い合わせ ●北九州芸術劇場 ☎093-562-2655  
 主催 ●(公財)北九州市芸術文化振興財団 共催 ●北九州市  
 協力 ●若松沼隈販売株式会社

上田Ver. 2017年3月4日(土) 14:00開演 / 5日(日) 14:00開演 ※開場は開演の30分前  
 会場 ●サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター 大スタジオ  
 お問い合わせ ●サントミュージゼ 上田市交流文化芸術センター ☎0268-27-2000  
 主催 ●上田市(上田市交流文化芸術センター)、上田市教育委員会

魚沼Ver. 2017年3月11日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前  
 会場 ●魚沼市小出郷文化会館 小ホール  
 お問い合わせ ●魚沼市小出郷文化会館 ☎025-792-8811  
 主催 ●魚沼市(魚沼市小出郷文化会館)、魚沼文化自由大実行委員会  
 後援 ●魚沼市教育委員会、南魚沼市教育委員会、小千谷市教育委員会、こいでおやこ劇場、子ども劇場おやこ劇場新潟県センター、超南タイムズ、小出郷新産社、新潟日報社、新潟県高等学校文化連盟、BNS新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

【スタッフ】舞台監督・照明 ●田邊誠(株)ビーエーシークエスト イラスト ●長谷川龍史  
 企画・制作 ●演劇ネットワーク実行委員会(公財)高知市文化振興事業団、豊中市市民ホール指定管理者、  
 (公財)北九州市芸術文化振興財団、上田市(上田市交流文化芸術センター)、魚沼市(魚沼市小出郷文化会館)  
 制作助手 ●岡野礼登(南河内万歳一座) 制作協力 ●南河内万歳一座  
 助成 ●(一社)全県モーターボート競走旅行者協議会、(一財)地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

公共ホール演劇ネットワーク事業は、地方自治体が開催するモーターボート競走の収益金を活用して実施しています。



平成 28 年度公共ホール演劇ネットワーク事業報告書

編集・発行／一般財団法人地域創造

発行日／平成 29 年 3 月